Since1962. 広報湯前

あなたとまちをつなぐ情報誌

Yunomae

4

The Monthly Public Relations

Apr_2024

Vol.514

湯前町消防団 林野火災対応訓練

人の力と機械の力で消火・救助活動を効率的に

デジタル技術を試験的に利用して訓練

1_ 物資運搬用ドローンで不足する機材を素早く手配 2_ 丘の上で救助を待っていた負傷者をヘリにつり上げ 3_ ひばりへの給水を体験 4_ 上球磨消防署の機材を借りてジェットシューターに給水 5_ 現地指揮本部に届く映像を確認する長谷町長ら 6_ 多くのポンプを連結して、急斜面を登った先の火元まで送水成功

林野火災発生に備えて

2月18日、湯前町消防団（土屋登志久団長）が、ゆのまえグリーンパレス周辺で林野火災対応訓練に取り組みました。

毎年3月1日に始まる全国山火事予防運動を前に、消防団の林野火災への対応能力を向上させることを目的として計画。消防団員110人のほか、上球磨消防署や熊本県防災消防航空隊、ドローン製造メーカーなども参加しました。

湯楽里東側の森林で火災が発生しているが、火元までの経路は不明という想定で訓練が開始され、現地指揮本部はゆのまえグリーンパレス芝生広場に設置。火元と火元までの経路の特定には空撮用ドローンを利用しました。消防団員は芝生広場付近の水路から約900㍍先の火元まで、ポンプとホースを連結して放水。背負い式の消火用資機材「ジェットシューター」を使った放水もしました。ジェットシューターが不足しているとの無線が本部に入ったときには、物資運搬用ドローンを投入して火元まで運搬。消火活動を補助しました。

防災消防ヘリコプター「ひばり」到着後は、ひばりのタンクへの給水方法の説明を受け、消防団員が連結したホースで給水。ヘリコプターでの空中消火訓練へと移りました。ほかにも、消火活動中の消防団員が負傷したとの想定で、ひばりに負傷者をつり上げる救助訓練もしました。

今回の訓練では、映像伝送やビデオ会議ができるシステムを現地指揮本部に設置。ドローンやハンディカメラなどからリアルタイムで映像が届く仕組みとなっていて、火元までの経路や消火活動の状況を確認するのに利用しました。

訓練を終え、土屋団長は「ドローンなどの新たな技術を取り入れた訓練ができ、団員には貴重な経験になったと思う」と話しました。

もくじ

＼ちょっとぴ／

卒業生の幸せを願って

かぼちゃの家が手作りストラップをプレゼント

先月13日、地域活動支援センターかぼちゃの家（上里３）が、卒業をひかえる湯前小学校の６年生児童に手作りストラップをプレゼント。同センターは毎年、小学校卒業を祝って手作りストラップを贈っています。ストラップのモチーフは幸福の象徴「フクロウ」。同センターで所長を務める東明美さん（61＝中里２）は「卒業おめでとう。これからも勉強にスポーツに頑張って」とエールを送りました。

※那須凜音さん（上里３）と有馬萌美さん（野中田２）が代表で受け取り（写真左から那須さん・有馬さん）

人のうごき

2月

人口＝3502人（男＝1655 女＝1847）

世帯＝1515世帯

※2月29日時点

結婚おめでとう

笹田 秀一（下村）
内藤 咲季（愛知県刈谷市）

廣田 雄太（熊本市）
椎葉 鈴花（りんか）（下里）

大木 和也（山口県下関市）
栗原 緑（上染田）

誕生おめでとう

恒松 志暖（しのん）（下染田） 翔也・明美

永田 向日葵（ひまり）（馬場） 朋久・小春

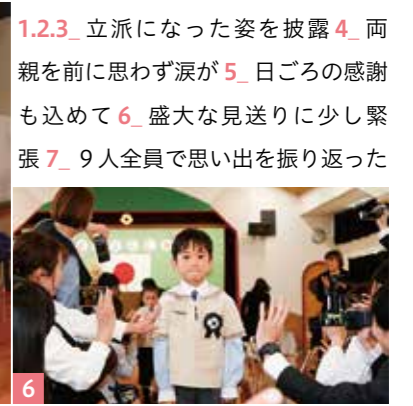
ご冥福をお祈りします

新村 フミ子（馬場）
田嶋 フミ子（下城）
稲森 實（下里）
椎葉 博実（植木）
岩木 康智（下染田）

香典返し

遠山 ミドリ（上里3）
新村 孝雄（馬場）
米良 高江（野中田3）

たくさんの思い出とともに卒園

湯前保育園卒園式

1.2.3_ 立派になった姿を披露 4_ 両親を前に思わず涙が 5_ 日ごろの感謝も込めて 6_ 盛大な見送りに少し緊張 7_ 9人全員で思い出を振り返った

いざ、小学1年生へ

3月16日、湯前保育園で卒園式が開かれ、9人の園児がたくさんの思い出が詰まった園舎に別れを告げました。

卒園児らは緊張の面持ちで入場しましたが、保育証書を受け取るときには大きな声で「ありがとうございます」としっかり発言。一人一人に保育証書を渡し終えた東理絵園長は「みんなは仲が良くて、友達が頑張っているところや良いところを見つけるのが上手で、下の子たちにも優しくしてくれた。自信を持って小学校でも頑張って」と卒園児の成長を振り返るとともに、エールを送りました。長谷和人町長は「保育証書を受け取る姿を見たときに、これから大きく成長していく姿を想像できてうれしかった。湯前保育園で学んだことを忘れず、元気いっぱいの1年生になってほしい」とあいさつしました。

歌や写真などとともに保育園での思い出をみんなで振り返った卒園児らは、一人ずつ家族の前へ。家族からのボイスメッセージが流されると、思わず笑顔や涙があふれました。はじめに受け取った保育証書は感謝の言葉とともに家族に手渡し。最後は家族やお世話になった保育士の皆さんがつくった花道を歩いて、退場しました。

輝かしい未来へ歩みだす

湯前中学校第77回卒業証書授与式

1.2_ 卒業証書をていねいに受け取る卒業生ら 3_ 涙ながらに答辞 4.6_ 最後は笑顔で 5_ たくさんの拍手と注目の中、入場

「私」から「私たち」へ

3月10日、湯前中学校体育館で第77回卒業証書授与式が開かれ、卒業生25人がそれぞれの道へと旅立ちました。

卒業生らは在校生と保護者らの盛大な拍手の中、堂々と入場。一人一人、新川晃英(てるひで)校長から卒業証書を受け取りました。卒業証書を渡し終えた新川校長は「これから歩む時代は先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代。みんなで生き抜くには一人一人の自立が必要。『私』という自分自身だけではなく『私たち』という社会がどのようにすれば幸せになれるかを考え、社会のために貢献することが自立という状態。さまざまな問題に向かい合いながら、みんなで解決することで社会に貢献し、幸せを追求する自立した人になってほしい。湯前中学校の卒業生であることに誇りを持ち、新しい世界へ力強い一歩を踏み出して」という言葉で、卒業生を送り出しました。

送辞では在校生代表の吉田楽々(らら)さん(野中田1)が「先輩たちと出会えたこと、ともに過ごせたこと、すべてに感謝している。自ら選んだ道に自信を持ち、これからの輝かしい未来へ向かっていく先輩たちを心から応援している」とエールを贈りました。

すべての人に感謝

卒業生代表の松本空さん(田上)は「友達のことについて深く考える3年間だった。3年間で本当の友達に近づくことができたと思う。今日、たくさんの思い出が詰まった学び舎を巣立つ。新しい場所でも湯前中生という誇りを胸に、希望あふれる未来に向かって一歩ずつ歩んでいく。今日まで私たちを導いてくれたすべての人に感謝している」と3年間を振り返って答辞。式を終えた卒業生たちは後輩から花を受け取り、力強い足取りで会場を後にしました。

グループごとにたくさんの意見を出し合った

1 私たちにできることは？

認知症サポーター養成講座で接し方などを勉強

2月16日、湯前小学校体育館で「認知症サポーター養成講座」を開き、同校の5年生児童が参加。児童らは認知症に関する絵本の読み聞かせや講話を聞いた後、グループに分かれて「認知症の人のために私たちができること」などを話し合い、認知症への理解を深めました。

講座を終え、石神絵愛さん（古城）は「認知症の人の立場に立って接し方を考え、行動することが大切だと感じた」と学びを振り返りました。

記念作業に精を出す参加者ら

2 人生の節目に形に残る思い出を

還暦者記念植林

2月17日、浅鹿野区内の町有林で還暦者記念植林を開催。令和5年度中に還暦を迎える対象者のうち8人が参加し、植林作業に汗を流しました。

同植林は人生の節目である還暦を迎える人に、郷土を愛し、健康で心豊かに過ごしてもらいたい、という思いで昭和27年度から始めたもの。今回はスギの苗を植林。参加者には記念品として、トゲなしレモンの苗1本を贈りました。

3 熊本高専生がプログラミングを指導

熊本高等専門学校主催「プログラミング講座」

子どもの目線に合わせて優しく指導

熊本高等専門学校が主催するプログラミング講座が、2月25・26日に農村環境改善センターで開かれ、町内外から47人の小中学生が参加。同校の学生が講師となり、訪れた子どもたちに優しく、分かりやすくプログラミングを教えました。

同講座は都市部に比べて科学技術に触れる機会が少ない地方の小中学生に、さまざまな体験をしてもらいたいとして開かれているもので、本年度2回目の開催となりました。今回は①プログラミング玩具「embot」を使ったじゃんけんロボットのプログラミングと②Scratchプログラミングでのドローン飛行を体験。ゲームのような感覚で高度な技術に触れられる貴重な体験となりました。

ウォーキングで健康づくり/モルック体験会も同日開催

4 健康につながる歩き方を学ぶ

ゆのまえ健康づくりウォーキングイベント

2月24日、農村環境改善センターで「ゆのまえ健康づくりウォーキングイベント」を開催しました。始めに開いた講演会では、熊本大学教育学部の中川保敬教授が「簡単で効果的なウォーキング」と題して講演。正しい歩き方などを学んだ後は実際に町内を歩きました。

同センターをスタート・ゴール、里宮神社と下里御大師堂をチェックポイントとしたコースを歩いた参加者ら。ゴール後はぜんざいを食べて体を温めました。

安心して利用できる、みんなの頼りになる拠り所となっている

5 1年間で多くの人の支えに

「おだやかな居場処『光』」1周年報告会

植木地区の地内豊子さん（80）宅敷地内にある心の拠り所「おだやかな居場処『光』」の開所1周年を記念した報告会が先月7日に開かれ、人吉球磨地域精神保健福祉ボランティア「麦の会」の役員や湯前町社会福祉協議会の椎葉正博事務局長などが出席しました。

『光』は精神・発達障がいのある人や引きこもり状態の人、不登校の児童生徒、支援する家族など、生きづらさや悩みを抱えた人たちの心の拠り所になれば、という思いで開所された場所。報告会では、これまでに受けた相談など、13ケースの支援内容を地内さんが報告しました。地内さんは1年間の活動を振り返り「障がい者支援施設の代表が相談に来たり、付き添いで幼い子どもが来たりなど、誰でも来てくれる心地よい場所になっていっていることがうれしい。今後も周りの皆さんの優しさをもらいながら、ゆっくりと歩みを進めていきたい」と笑顔を見せました。

6 19年間紡いできた継承活動で特別賞受賞

くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰

次世代へ継承を続ける

湯前中学校の2・3年生生徒が「くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰」で特別賞を受賞。同表彰は「地域のために、ひたむきに頑張っている子どもたちを励ますこと」「熊本を笑顔にするよい行いを広く県民に知らせること」を目的に、熊本県教育委員会が毎年行っているもの。同校は19年前から取り組んでいる伝統芸能継承活動が評価されての受賞となりました。

2・3年生を代表して、前生徒会長の松本空さん（3年＝田上）は「先輩たちから受け継がれてきた活動が評価され、先輩たちと一緒に表彰を受けたようでうれしい」と受賞の感想を話しました。新生徒会長の吉田楽々さん（2年＝野中田1）は「私たちが継承している伝統芸能は湯前町の良さが詰まったもの。湯前町が大好きという気持ちを伝統芸能の中で表現できるようにしたい」と、ことしの継承活動に意欲を見せました。

Special Report

支え合い、乗り越える。

県を通じて介護職の人的支援を要請された特別養護老人ホーム福寿荘（野中田１）は、介護福祉士の福冨孝之さんを石川県金沢市の1.5 次避難所に派遣。２月３日～15 日、いしかわ総合スポーツセンターで高齢者の介護にあたりました。

※1.5 次避難所…ホテルなどの２次避難所に入るまでの間、一時的に被災者を受け入れる施設

Takayuki Fukutomi

福寿荘 介護福祉士
福冨 孝之
（41 ＝古城）

被災地に行ったことで多くのことを気づかされた

金沢市の市街地では特に地震の影響は見られませんでしたが、1.5 次避難所には100 数人の高齢者が避難していました。避難所内は①自立②要介護３程度③寝たきりの３つのエリアに分けられていました。支援に入った当初は、避難者は入浴や洗濯ができない状況で、日が経つにつれ、１日に４人程度シャワーを利用できるようになり、洗濯も業者に週３回依頼できるようになりました。

支援している間、今後への不安や石川県の対応への不満、派遣された他県の職員への不信感などの会話が聞こえてくることがありました。自分も被災したときは同じように思うかもしれないと感じ、業務の間は不安につながらないような声かけをすることを心がけました。

派遣が決まったときは不安しかありませんでしたが、実際に行ってみて、被災しないと分からないようなことや自分の現状の環境が恵まれていることを気づかされました。業務はハードでしたが、やりがいを感じることができました。

■主な業務内容

【消灯前まで】※消灯：22 時

日勤職員から引継ぎ / 夜勤業務の全体ミーティング / 車いすや歩行器、テーブルなどの消毒 / オムツ交換・眠前薬の服薬介助トイレ誘導

【消灯後～業務終了まで】

巡視・トイレ誘導 / ポータブルトイレの清掃（23 時・３時・７時）/ 洗濯物の処理 / 義歯の洗浄 / 整容介助 / 日勤職員への引継ぎ

２月10 日～18 日、令和６年能登半島地震の被災市町村への人的支援（職員派遣）として、湯前町役場から竹部圭太主事を派遣。県庁や県内の市町村から集まった25 人の職員とともに、最大震度７を計測した石川県輪島市で被害認定調査にあたりました。※熊本県からの派遣第４陣で派遣

■本町からの職員派遣日程 ※３月末時点

①２月28 日～３月７日（第７陣）
総務課 主幹 佐藤 大（46 ＝多良木町）

②３月17 日～25 日（第10 陣）
議会事務局 主事 中山 政人（21 ＝あさぎり町）

③４月28 日～５月６日（第17 陣）
総務課 係長 工藤 陽平（40 ＝下城）

Keita Takebe

農業委員会事務局 主事
竹部 圭太
（24 ＝野中田３）

「チーム熊本」として働く貴重な経験を積めた９日間

今回は罹災証明書発行のために必要な被害認定調査（一次調査）をしました。調査は三重県・福岡県・北九州市・山口県・広島県・高知県・熊本県の６つで協力。熊本県は７班体制で活動し、１日に160 件～255 件を調査しました。第３陣は輪島市役所周辺の市街地がメインでしたが、私たちは市街地から離れた海山側の集落で活動しました。

被災から１カ月ちょっとが経過し、ボランティアの受け入れや学校再開など少しずつ前に進み始めている時期でしたが、初日に見た生活感の無くなった街並みには衝撃を受けました。今回の派遣では、県と各市町村が「チーム熊本」として同じ目標のために働くという、貴重な経験を積むことができました。今回の経験を日ごろの業務にも生かしていきたいと思うとともに、機会があれば派遣だけでなく、さまざまな形で支援していければと思います。

被災地の１日も早い復興をお祈りします。

湯前歴史散歩

村会議事録にみる下町橋の架設②

石造り高欄だった当時の下町橋

前回は明治39年9月に出された願書を紹介しました。

下町橋の設計を木橋から石橋に変更することと、村へ用材の下付を願う内容であった願書の提出から約1カ月後の10月29日、再び地元総代として椎葉三蔵・兼田喜太郎から願書が出されています。

費用の不足

再び出された願書の内容は「眼鏡橋に設計変更し、工事は七分通り以上進行しているが、費用が予想外に不足し、地元の戸数では到底負担できないので、金150円を村から補助してほしい」というもの。

願書には「下町橋目鏡形架設費用収支予算書」が添えられていました。予算書を見ると、総工費は552円40銭で、うち221円余りを村から払い下げを受けた杉・桧・焼松の売却代、181円余りを地元からの出役（しゅつやく）や寄付金で賄う計画となっています。

しかしながら村議会では、補助しないという決定となったようです。

収支予算書を読む

収支予算書の内容を表にまとめてみました（↓）。『湯前町史』の年表には、明治39年11月20日のこととして「下町橋架替。初めてセメントを使用。眼鏡橋となる。工費二百七十円」と記載してあります。おそらく、収支予算書をもとに記述したものと思われます。

『町史』では工費270円とありますが、予算書では「元契約分」とあるので、実際の総工費としては予算書の合計552円40銭に近い金額がかかったものと思われます。

ほかにも、予算書の支払いの部には「手摺（てすり）ニ使用スルセメント購入代」として、1円50銭の記述があります。「手摺」は高欄（こうらん）（欄干（らんかん））のことと思われます。現在進めている修繕工事では、失われていた高欄も石造で復元されます。当初の姿に戻る下町橋の完成が心待ちにされます。

■下町橋目鏡形架設費用収支予算書

収入	
176 円18 銭	下付を受けた杉・桧５本売却代
10 円	古桁４本売却見積代
15 円	焼松 裏木および不用材売却見積代
5 円	焼松 裏および枝売却見積代
15 円	焼松 下橋用売却見積代
181 円22 銭	助勢夫および地元出夫、かつ寄付
150 円	村税補助
	計 552 円40 銭

支払い	
270 円	下町橋架設石工賃および大工賃元契約分
30 円	元契約外やむを得ざる増工事石工賃見積高
38 円11 銭９厘	下橋用松材運搬費現支払高
20 円25 銭	下橋用松材木挽賃現支払高
1 円13 銭５厘	下橋用釘代現支払高
1 円50 銭	手摺に使用するセメント購入代見積高
180 円	慰労金、石材運搬その他人夫賃および雑費見積高
11 円39 銭６厘	石材運搬に使用する苧代現支払高
	計 552 円40 銭

教育課 学芸員 **松村 祥志（しょうじ）**

NEWS 1

那須良輔先生の出身地に作品が凱旋！

下染田区公民分館で那須良輔複製原画を展示

下染田区公民分館で那須良輔先生の複製原画と年表の展示を始めました。日本を代表する政治風刺マンガ家の那須先生は、下染田区の出身。「湯前」「下染田」にゆかりのある作品を中心に展示しています。下町橋や都川など、湯前町に住んでいる皆さんなら思わず、うんうんとうなずいてしまう風景画や、那須先生が好んで描いた「蛙と鯰（かえる なまず）」がモチーフの絵など、まるで那須先生がふるさとに帰ってきたような展示を楽しめます。公民館を利用のときは、ぜひご覧ください。

ふるさとの懐かしい思い出を描いた『都川の夜釣り』

1987 年に描かれた那須良輔先生の自画像。猫を抱いて優しい笑顔を浮かべています

湯前町の未来を愛情とユーモアたっぷりに描いた「自然を生かした湯前町未来図」。"湯前温泉""キャンプ村" など、実現したものも！？

■那須良輔作品を飾れます！

「那須良輔作品の複製原画を飾りたい」などの希望は、気軽にまんが美術館にお聞かせください。「干支の動物の絵を飾りたい」「こんな雰囲気の作品はある？」など、さまざまな希望にできる限り応えます。美術館スタッフがデジタルアーカイブした作品画像を見ながら、好きな作品を選ぶことができます。

よりぬき！

りょうすけギャラリー

開催中の展覧会から、おすすめ作品を紹介！今月は「第２回那須良輔風刺マンガ劇場 マンガと戦争～熊日紙面と風刺マンガから～」（新聞博物館）の中から紹介します！
※５月11 日まで開催

『埋葬』

那須先生のことば

「中国大陸でのあしかけ八年の兵隊生活は、人間の愚かさと悲しさをとことん知らされた。」
―那須良輔『漫画家生活50 年』（1985 年）260㌻より

故 那須 良輔 先生

NEWS 2

紙面とマンガから平和を考える

出前展＆イベントを開催

新聞博物館（熊本市）で開催中の出前展「マンガと戦争～熊日紙面と風刺マンガから～」は、もうご覧いただけたでしょうか？ベトナム戦争や中東戦争をテーマに描かれた那須良輔の風刺マンガ作品と、当時の世相がわかる熊日紙面を並べて展示するコラボ展です。近くに行かれたときは、ぜひお立ち寄りください。
※展示は５月11 日まで

出前展に関連して、２つの会場で講演会とワークショップを開催します。講演会の講師は横浜市立大学で国際関係学を教える上村雄彦教授。小学生にも分かりやすい内容で「平和の作り方」を考えます。講演会終了後は那須作品の風刺マンガカードで遊ぶワークショップを開催。ぜひ友達や家族と一緒にお越しください。

第２回 那須良輔風刺マンガ劇場
マンガと戦争
～熊日紙面と風刺マンガから～
2024 年
3/18（月）- 5/11（土）
会 場／新聞博物館
時 間／10：00 ～ 16：30
休館日／日曜・祝日
入館料／無料
★展示作品がよくわかる！ 無料イベントを２会場で開催★

←イベントの申し込みはコチラ

■県北開催

◎日時
４月27 日（土） 13：30 ～15：00
◎会場
熊本日日新聞本社２階会議室
◎講演会
「どうやったら平和って実現できるの？～那須良輔マンガから学ぼう！～」
◎ワークショップ
「風刺マンガカードであそぼう！」

■県南開催

◎日時
４月28 日（日） 10：00 ～12：00
◎会場
湯前町農村環境改善センター中会議室
◎講演会
「いま、平和の作り方を考える～那須良輔マンガから学ぶ～」
◎ワークショップ
「風刺マンガカードであそぼう！」

X（旧Twitter）

Instagram

▲SNS でまんが美術館の最新情報を発信中。ぜひフォローをお願いします！
アカウント：@yunomae_manga

Information

那須先生の作品画像を無料で利用可能！

『狩』※常設展示室で公開中

まんが美術館に収蔵されている那須先生の作品画像を無料で利用できます。利用したいときは申請書を教育課に提出してください。くわしくは教育課に問い合わせるか、まんが美術館ホームページで確認してください。
教育課 ☎0966（43）2050

髙橋 颯希（さつき） 隊員

中尾 章太郎 隊員

本の世界

今月のおすすめ

中央公民館図書室 ☎0966(43)2050
【平　　日】8:30～17:00
【土日・祝】9:30～17:00

今回は湯前町人権教育推進協議会から寄贈を受けた、人権をテーマとした本の中から4冊を紹介！

二番目の悪者

林 木林(著)など
小さい書房

金色のたてがみを持つライオンは王になりたかった。自分が王にふさわしいと思っていた―。登場するのは動物ばかり。1ページ目はこの言葉から始まる。「これが全て作り話だと言い切れるだろうか」。

ぼくは、かいぶつになりたくないのに

中村 うさぎ(著)など
日本評論社

両親からの虐待(ぎゃくたい)、学校でのいじめ、同性愛者であることの差別…でも、絵だけが慰(なぐさ)めてくれた。孤高のアーティストの衝撃のデビュー作。

海をあげる

上間 陽子(著)
筑摩書房

「海が赤くにごった日から、私は言葉を失った」。幼い娘のかたわらで、自らの声を聞き取るようにその日々を、強く、静かに描いた衝撃作。最後に知るタイトルの意味―。その時、あなたは何を想うか。

武器としての国際人権

藤田 早苗(著)
集英社

国際的な人権基準と照らし合わせると、日本では人権が守られていない。その状況を変えるにはどうすればいいのか。国際人権機関を使って問題に取り組む第一人者が、実例を挙げながらひもとく。

栄養

ブロッコリーが指定野菜に！

手軽にたんぱく質が取れる注目の野菜

ブロッコリーが2026年度から「指定野菜」になると発表されました。指定野菜とは、日本人の食生活に重要と国に認められた野菜のこと。ジャガイモが1974年に指定されて以来、52年ぶりの品目追加となり、話題になっています。

ブロッコリーは、ゆでるだけで食べられるので手軽に栄養を取ることができます。野菜としては珍しく、タンパク質が豊富に含まれていることも特徴。昨今では美容や健康、ストレス解消などのために筋力トレーニングをする人が多く、効率的に筋肉をつけることができる食材としても注目されています。

Recipe

ブロッコリーと牛肉のオイスターソース炒め

【材料(4人分)】

ブロッコリー…1株
牛もも肉小間切れ…200㌘
〔調味料A〕おろし生姜…適量
濃口しょう油…大さじ1
酒…小さじ2　片栗粉…大さじ1
〔調味料B〕サラダ油…大さじ1
オイスターソース…大さじ1
濃口しょう油…小さじ1
酒…小さじ1　ごま油…大さじ1

©株式会社サンシャインチェーン本部

■作り方

①牛肉を調味料Aに漬け込む
②食べやすい大きさにカットしたブロッコリーをサラダ油でサッと炒める。塩を少々振り、熱湯を1/2カップ入れ、フタをして2分ほど蒸し焼きにする。火を止めて、ブロッコリーをざるに上げ、水気をしっかり切る
③フライパンに油を加え、下味をつけた牛肉を炒める(一度皿に引き上げる)
④フライパンをキッチンペーパーで拭き、ごま油を入れ、ブロッコリーと牛肉を加えて調味料Bで味付けする

管理栄養士 **田中 朋子**

保健

花粉症に悩まされていませんか？

予防と早めの治療で症状を軽くできます

花粉症のピークは一般的に2～4月と思われていますが、スギやヒノキなどの「木の花粉」は1～6月、カモガヤやブタクサなどの「草の花粉」は5～12月と、1年中さまざまな花粉が飛散しています。

◎花粉症はどうしてなるの？

花粉症は花粉に対するアレルギー反応のこと。花粉が体内に入ると、体が異物と認識して異物(抗原)に対する抗体を作ります。個人差はありますが、数年～数十年かけて花粉を繰り返し浴びることで抗体の量が増加し、症状が現れます

◎花粉の飛散量はいつ多くなるの？

花粉の種類で時期は変わりますが、時間帯で見ると昼前後と夕方に多くなります。①晴れて気温が高い日②空気が乾燥して風が強い日③雨上がりの翌日が特に多くなるように、天候にも左右されます

◎受診のタイミングは？

毎年症状が出る人は、本格的な飛散開始の1週間前までには、医療機関や薬局で薬を準備し、使用を始めましょう。症状が軽いうちに服薬を始めることで症状が抑えられます。これまでに花粉症と診断されていなくても、くしゃみなどの花粉症と思われる症状が出たときは、早めに医療機関で診断を受けましょう

花粉症を予防するには

①花粉を避ける
・顔にフィットするマスクやメガネをつける
・飛散の多い時間帯の外出を避ける
②花粉を室内に持ち込まない
・ウール素材の衣服や肌の露出が多い服装はなるべく控える
・手洗い、うがい、洗顔、洗髪で花粉を落とす
・換気方法を工夫する
・床の掃除をこまめにし、カーテンは定期的に洗濯する
・洗濯物や布団の外干しを控える

看護師 **山浦 一美**
(参考)環境省・厚生労働省HP

環境

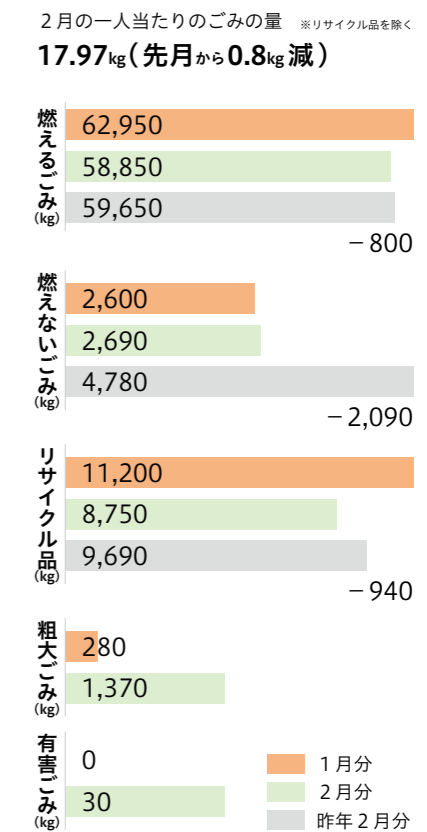
最大3万円の補助があります

生ごみ処理容器などの購入補助金

本町では生ごみ処理機などの購入に補助があります。くわしくは保健福祉課環境衛生係に問合せください。

■生ごみ処理機(電動型) ※1世帯1台まで
購入価格の2分の1を補助(補助金上限3万円)
■生ごみ処理容器(コンポスト) ※1世帯2個まで
購入価格の2分の1を補助(補助金上限3000円)

◎処理機・処理容器を利用するメリット
・生ごみの臭いや虫、汁だれ、カラスや猫の被害などを解消
・毎回のごみ出しの負担が軽くなり、ごみ袋の節約にも
・連休中も安心
・花壇の肥料として使える

畑に据え付けられたコンポスト

4月の不燃物収集は
3・17日(第1・3水曜日)です

婦人会だより ーWomen's Associationー

移動支部長会でパン作りを楽しみました！

2月17日、熊本市民会館シアーズホーム夢ホールで「交通安全母親活動推進大会・実践活動発表大会」が開かれ、球磨郡地域婦人会から20人が参加しました。ことしは実践発表の中で「私たちの生活と水」をテーマに発表することとなり、各校区の活動をまとめました。改めて生活に必要な水について考える機会となりました。

令和5年度の事業も無事に終わることができました。協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

■ボランティア活動の成果

昨年10月に高齢者生活福祉センター湯愛や特別養護老人ホーム福寿荘などに植えた、パンジーやチューリップ、スイセンがきれいに咲きました。

地域婦人会 会長
苗床 由美

B&G活動 ーSportsー

令和６年度のだんだん会員を募集中です！

湯前さわやかクラブ『だんだん』では、主に「趣味」や「健康づくり」を目的に、9つの定期教室を開催しています。健康に良いだけではなく、ほどよい気分転換としてストレス解消にも効果的。ひと月単位でも入会可能で、初心者・経験者問わず誰でも気軽に参加できます。

令和6年度の会員を募集しています。ことしの春は新しい趣味を見つけてみませんか？くわしくは事務局に問い合わせください。

■会費

【一般会員（高校生以上）】年会費 6000円／月会費 600円
【ジュニア会員（中学生以下）】年会費 3000円／月会費 300円
【ファミリー会員】家族で2人目以降半額 ※年会員のみ

■開催教室 ※〇は日中、★は夜間

- 〇総合運動クラブ（火・金） ※小学4～6年生のみ対象
- 〇トランポリン（土）
- 〇歌声ひろば（水）
- 〇ボウリング（日）
- 〇野球（火・土・日・祝日） ※火曜は夜間
- ★ソフトテニス（水・木）
- ★バドミントン（第1・3火・毎週木）
- ★卓球（火・木）
- ★バレーボール（火）
- ★フットサル（火・金）

※（）内は教室開催日の一例です。変更となる場合があります。申込用紙はB&G海洋センターと中央公民館にあります

だんだん事務局（B&G海洋センター） **安井 佳奈**

つなぐゆのまえ ー人権のひろばー

▼水俣病と人権

何も知らずに他人を傷つけることがないように、正しく理解を

聞こえてきたのは真実ですか？うわさ話ですか？

水俣病とは

工場排水中のメチル水銀に汚染された魚介類を、長い間たくさん食べたことが原因となって発生した中毒症のことです。伝染病・遺伝病・風土病などではありません。

主な症状として、両手足の感覚障がいや視覚・聴覚障がい、運動失調などがあります。妊婦の体内に入ったメチル水銀が、胎盤を通して胎児へ取り込まれることで発症する「胎児性（たいじせい）水俣病」も大きな問題となりました。

水俣病をめぐる差別や偏見

水俣病の原因が分からないころは空気を通して感染すると思われていて、患者や患者の家族は地域との付き合いを断られるなどありました。水俣市には原因企業や関係先で働く人が多かったため、市民の間での水俣病に対する考え方の違いもありました。原因企業と自分の生活を守ろうとする人と患者との間では非難や中傷が繰り返され、地域社会の人間関係が壊れていきました。原因が分かった後も水俣病を正しく理解してもらえず、就職や結婚を断られたりした人がいました。

ほかにも水俣市外では、水俣病という名前から水俣市の住民みんなが感染しているようなイメージを持たれることが多くありました。結果として、修学旅行先や進学・就職先などで差別やいじめを受けるなど、つらい思いをした人が多くいました。

正しい知識を持ち、差別や偏見をなくしましょう

水俣病がどのような病気なのか正しく理解されなかったために、患者や家族、水俣市民などは差別や偏見を受け、とてもつらい思いをしました。

私たちは水俣病に対する正しい知識を持ち、被害を受けた皆さんの視点に立って考えることで、水俣病に対する偏見や差別を無くしていくための努力をしていきましょう。

地域人権教育指導員
窪田 龍記（たつき）

町民憲章

Town's People Charter

一.健康で心豊かなまちをつくりましょう
一.平和・勤勉・明朗なまちをつくりましょう
一.自然を人を郷土を愛するまちをつくりましょう
一.活力があり未来あるまちをつくりましょう

私たちは湯前町民であることに誇りを持ち、豊かで明るく住みよい町にするために町民憲章をここに定めます。

4月の表紙

立派に成長

湯前保育園卒園式で保育証書を受け取る卒園児。しっかりと目を見て、きれいな姿勢で、ていねいに受け取る姿に成長を感じました。

撮影場所 湯前保育園

令和6年4月1日発行第514号
編集・発行/湯前町役場総務課
〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1 TEL:0966(43)4111 HP:https://www.town.yunomae.lg.jp/ 印刷/(有)ソーゴーグラフィックス

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

ふるさとを思い、遠方からまちを応援

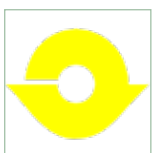
大好きな湯前町のために

ユキ・コーポレーション有限会社から2度目の寄附

2月22日、役場応接室で「企業版ふるさと納税感謝状贈呈式」を開き、長谷和人町長が「ユキ・コーポレーション有限会社」(大阪府)の代表取締役、中村幸男さん(48＝中里1出身)に感謝状を手渡しました。

本町では森林資源を将来に引き継ぐために「みらいのもり創造プロジェクト」と題した、森林に関心のある企業との協働の森づくりを10年以上続けています。同社は令和3年度にも同プロジェクトに対して寄附していて、今回で2度目の寄附となりました。

中村さんは「大好きな湯前町のために、微力ながら協力させてもらった。これからもできるだけ協力していきたい」と話し、長谷町長は「多額の寄附をいただき、心から感謝している。今後もふるさと納税事業に力を入れて、魅力的なまちづくりに努めていきたい」とあいさつしました。

ゆのまえ
心豊かで、活力があり、未来を創造する町

町章

町の鳥「メジロ」

町の花「ツツジ」

町の木「ヒノキ」

町ホームページ

町公式LINE(ライン)

町公式instagram(インスタグラム)

UD FONT by MORISAWA 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。